

RPS 2300 の設置

この章では、RPS 2300 の設置方法と接続方法について説明します。以下の各項の説明を読み、この順番で手順を進めてください。

- 「[設置の準備](#)」 (P.2-1)
- 「[RPS 2300 の設置](#)」 (P.2-9)
- 「[RPS 2300 の接続](#)」 (P.2-15)

設置の準備

ここでは、次の内容について説明します。

- 「[安全上の警告](#)」 (P.2-1)
- 「[EMC に関する規制声明](#)」 (P.2-4)
- 「[設置の注意事項](#)」 (P.2-7)
- 「[梱包内容](#)」 (P.2-8)

安全上の警告

ここでは、設置の基本的な注意事項と警告事項について説明します。これらの警告を各言語に翻訳したものが[付録 C「警告（翻訳版）」](#)に掲載されています。設置手順を開始する前に、このセクションをお読みください。

**警告**

RPS 2300 の過熱を防止するために、周辺温度が推奨されている最高温度を超える環境では使用しないでください。また、通気を妨げないように、通気口の周囲に 3 インチ (7.6 cm) 以上のスペースを確保してください。ステートメント 17B

**警告**

電力系統に接続された装置で作業する場合は、事前に、指輪、ネックレス、腕時計などの装身具を外してください。これらの金属が電源やアースに接触すると、金属が過熱して重度のやけどを負ったり、金属類が端子に焼き付くことがあります。ステートメント 43

**警告**

ブランクの前面プレートおよびカバー パネルには、3 つの重要な機能があります。シャーシ内の危険な電圧および電流による感電を防ぐこと、他の装置への EMI の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の空気の流れを適切な状態に保つことです。必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーをスロットに正しく取り付けられた状態で、システムを運用してください。ステートメント 156

**警告**

モジュールやファンの取り付けや取り外しの際は、空いているスロットやシャーシの内部には手を入れないでください。露出している回路部に触れると感電するおそれがあります。ステートメント 206

**警告**

雷の発生中は、システム上での作業やケーブルの抜き差しを行わないでください。ステートメント 1001

**警告**

設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004

**警告**

ラックに装置を取り付けたり、ラック内の装置のメンテナンス作業を行ったりする場合は、事故を防ぐため、装置が安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次の注意事項を守ってください。

- ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下に設置して、下から順番に取り付けます。
- ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守してください。ステートメント 1006

**警告**

この装置は、立ち入りが制限された場所への設置が想定されています。出入りが制限された場所とは、特殊なツール、ロックおよびキー、または他のセキュリティ手段を使用しないと入室できない場所を意味します。ステートメント 1017

**警告**

いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐに手が届く状態にしておいてください。ステートメント 1019

**警告**

この装置は必ずアースを接続する必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。ステートメント 1024

**警告**

この装置には、複数の電源が接続されている場合があります。装置の電源を切るには、すべての接続を取り外す必要があります。ステートメント 1028

**警告**

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030

**警告**

この製品を廃棄処分する際には、各国の法律または規制に従って取り扱ってください。ステートメント 1040

**警告**

スイッチ内部にはユーザが保守できる部品はありません。筐体を開けないでください。ステートメント 1073

**警告**

装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。ステートメント 1074

EMC に関する規制声明

ここでは、RPS 2300 に関する具体的な規制声明を示します。

米国

この製品に関する米国の規制情報は、このマニュアルの前付けに記載されています。

ステートメント 191 : VCCI クラス A に関する警告 (日本)

**Warning**

This is a Class A product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference by Information Technology Equipment (VCCI). If this equipment is used in a domestic environment, radio disturbance may arise. When such trouble occurs, the user may be required to take corrective actions. Statement 191

警告 これは、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の規定に基づくクラスA装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を取るようにより要求されることがあります。

**Warning**

This is a Class A Device and is registered for EMC requirements for industrial use. The seller or buyer should be aware of this. If this type was sold or purchased by mistake, it should be replaced with a residential-use type. Statement 294

주의 A급 기기 이 기기는 업무용으로 전자파 적합 등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며 만약 잘못 판매 또는 구입하였을 때에는 가정용으로 교환하시기 바랍니다.

ステートメント 256 : クラス A に関する警告 (ハンガリー)



Warning

This equipment is a class A product and should be used and installed properly according to the Hungarian EMC Class A requirements (MSZEN55022). Class A equipment is designed for typical commercial establishments for which special conditions of installation and protection distance are used.

Statement 256

Figyelem

Figyelmeztetés a felhasználói kézikönyv számára: Ez a berendezés "A" osztályú termék, felhasználására és üzembe helyezésére a magyar EMC "A" osztályú követelményeknek (MSZ EN 55022) megfelelően kerülhet sor, illetve ezen "A" osztályú berendezések csak megfelelő kereskedelmi forrásból származhatnak, amelyek biztosítják a megfelelő speciális üzembe helyezési körülményeket és biztonságos üzemelési távolságok alkalmazását.

ステートメント 257 : クラス A に関する通知 (台湾およびその他の繁体字中国語市場)



Warning

This is a Class A Information Product, when used in residential environment, it may cause radio frequency interference, under such circumstances, the user may be requested to take appropriate countermeasures. Statement 257

警告

這是甲類資訊產品，在居住環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

ステートメント 294 : クラス A に関する警告 (韓国)



Warning

This is a Class A Device and is registered for EMC requirements for industrial use. The seller or buyer should be aware of this. If this type was sold or purchased by mistake, it should be replaced with a residential-use type. Statement 294

주의 A급 기기 이 기기는 업무용으로 전자파 적합 등록을 한 기기이
오니 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며 만약
잘못 판매 또는 구입하였을 때에는 가정용으로 교환하시기 바랍니다.

設置の注意事項

RPS 2300 の設置場所を決めるときは、次の注意事項に従ってください。

- 動作環境が付録 A 「技術仕様」 に記載されている範囲内に該当している。
- RPS 2300 の周囲および通気口を通過するエアフローが妨げられない。
- 前面パネルと背面パネルの前後の間隙が次の条件を満たしている。
 - 前面パネルのインジケータが見やすい。
 - ポートに無理なくケーブルを接続できる
 - AC 電源コンセントから RPS 2300 前面パネルの電源モジュールに AC 電源コードが届く。
- ケーブルが、ラジオ、電力系統、蛍光灯などの電気ノイズの発生源から離れている。ケーブルは、損傷を与える可能性のある装置から必ず十分に離してください。

ケーブル配線用に十分な長さを確保するため、RPS 2300 を使用するスイッチとルータを RPS の近くに配置します。RPS ケーブルの最大長は 1.5 m です。

- RPS 2300 に電源モジュールが 1 台だけ設置されている場合は、RPS 2300 に付属する予備の電源取り付け部を空の電源スロットに装着する必要があります。

- RPS 2300 をスイッチ スタック付きのラックに設置する場合は、RPS 2300 をラックの一番下に設置します。必要な場合は、ケーブル配線用のスペースを確保するため、RPS 2300 とその上の最初のスイッチとの間に 1 RU の間隔を空けます。StackWise ケーブルを接続する前に、RPS ケーブルをスイッチに接続します。

スイッチとともに RPS を設置する方法については、『*Catalyst 3750-E and Catalyst 3560-E Hardware Installation Guide*』を参照してください。

- 電源モジュールまたはファン モジュールが RPS 2300 前面パネルにしっかりと固定されていることを確認します。

梱包内容

梱包用の箱から製品を慎重に取り出し、製品および付属品に損傷がないか確認してください。欠落または破損している製品がある場合には、シスコの担当者か購入された代理店に連絡してください。梱包材はすべて梱包用の箱に戻し、保管しておいてください。

梱包箱の内容は次のとおりです。

- 次のいずれかの構成の RPS 2300 (PWR-RPS2300)
 - 1 台または 2 台の 750 W 電源モジュール (C3K-PWR-750WAC)
 - 1 台または 2 台の 1,150 W 電源モジュール (C3K-PWR-1150WAC)
 - 1 台の予備電源取り付け部 (BLNK-RPS2300=)

電源モジュールを 1 台のみ注文した場合は、スペアの電源取り付け部が付属します。電源モジュールを 2 台注文した場合は、電源取り付け部をスペア部品として注文できます。
- 次のいずれかの RPS 2300 コネクタ ケーブル
 - CAB-RPS-2300-E= (Catalyst 3750-E および 3560-E スイッチとの接続に使用する 22 ピン - 22 ピン ケーブル)
 - CAB-RPS-2300= (サポートされているその他のネットワーク デバイスとの接続に使用する 14 ピン - 22 ピン RPS ケーブル)
- 各国の仕様に適合した電源コード、電源モジュールごとに 1 本ずつ
- AC 電源コード保持具
- リング型ラグ端子 X 1
- 次を含む取り付けキット：

- ゴム製の脚 X 4 (卓上設置用)
- マウントブラケット (19 インチ) X 2 と、ブラケットを RPS 2300 に取り付けるためのフラットヘッドネジ X 8
- ブラケットをラックに取り付けるためのなべネジ X 8
- 『Cisco Redundant Power System 2300 ハードウェア インストレーションガイド』
- 保証に関するマニュアル
- 製品登録カード



(注) 内容物が破損または不足している場合は、シスコの営業担当者にご連絡ください。

工具および機器

次の工具と機器を用意します。

- プラス ドライバ (ラックへの RPS 2300 の取り付けに使用)。
- 最大圧力が 15 ポンドフォース インチ (lbf-in)、つまり、240 オンスフォース インチ (ozf-in) の No.2 プラス ヘッド付きラチェット式トルク ドライバ。

RPS 2300 の設置

ここでは、次の設置手順について説明します。

- 「ラックへの設置」(P.2-10)
- 「卓上または棚への設置」(P.2-15)



(注) RPS 2300 の設置について不明な点がある場合やサポートが必要な場合は、「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」(P.xiv) を参照してください。

ラックへの設置

RPS 2300 を 19 インチ ラックに設置する場合は、このセクションに示す手順に従います。

RPS 2300 を 23 インチまたは 24 インチのラックに設置する場合は、オプションのブラケットキットが必要です。これは RPS 2300 に付属していません。



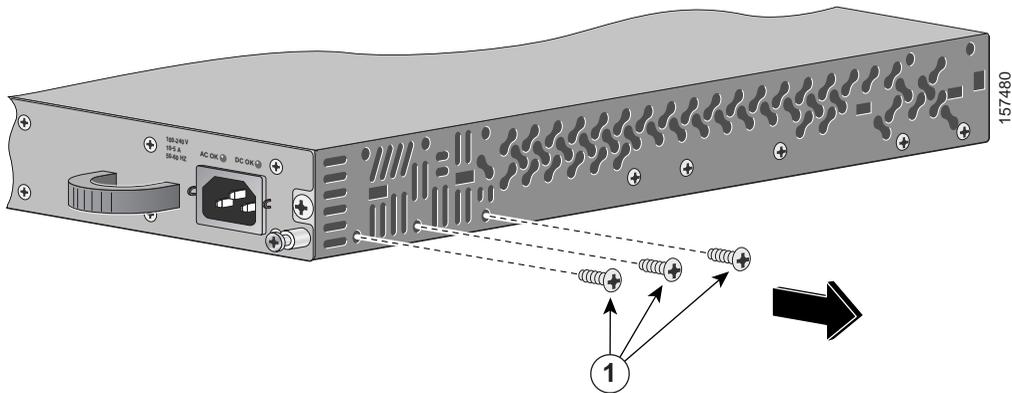
警告

ラックに装置を取り付けたり、ラック内の装置のメンテナンス作業を行ったりする場合は、事故を防ぐため、装置が安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次の注意事項を守ってください。

- ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下に設置して、下から順番に取り付けます。
- ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守してください。

RPS 2300 をラックに設置するには、マウントブラケットが取り付けられるように、最初に RPS のシャーシのネジを取り外す必要があります。フロントマウント位置に取り付ける場合は、RPS 2300 側面パネルから 3 本のトラスヘッドネジを取り外します (図 2-1)。ミッドマウント位置に取り付ける場合は、1 本のトラスヘッドネジを取り外します。リアマウント位置に取り付ける場合は、2 本のトラスヘッドネジを取り外します。

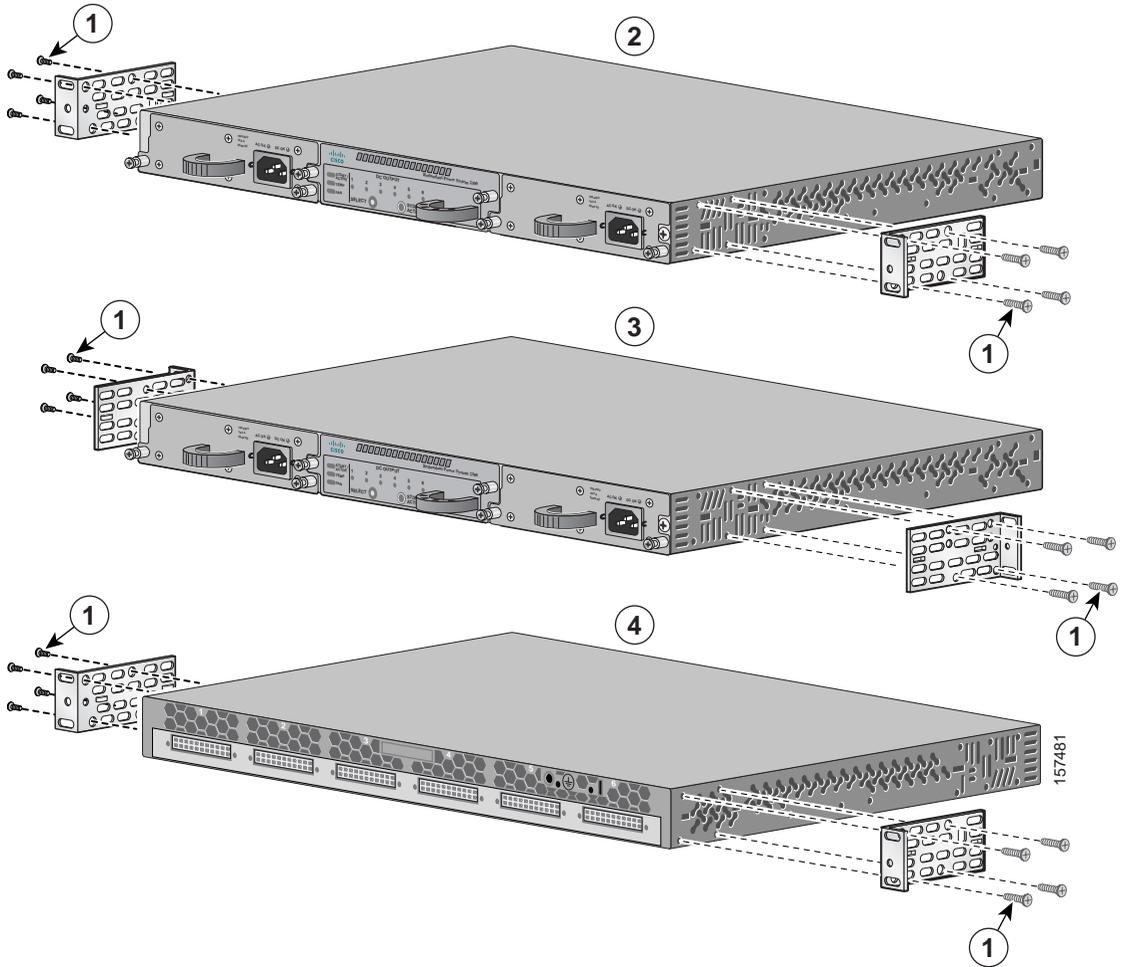
図 2-1 RPS 2300 からのネジの取り外し



1 トラスヘッドネジ

図 2-2 に、19 インチ ラックに RPS 2300 の前面パネルまたは背面パネルを手前に向けて取り付ける準備として、RPS 2300 の側面にブラケットを取り付ける方法を示します。

図 2-2 19 インチ ラック用ブラケットの取り付け



1	No.8 フラットヘッド ネジ	3	ミッドマウントの位置
2	フロントマウントの位置	4	リアマウントの位置

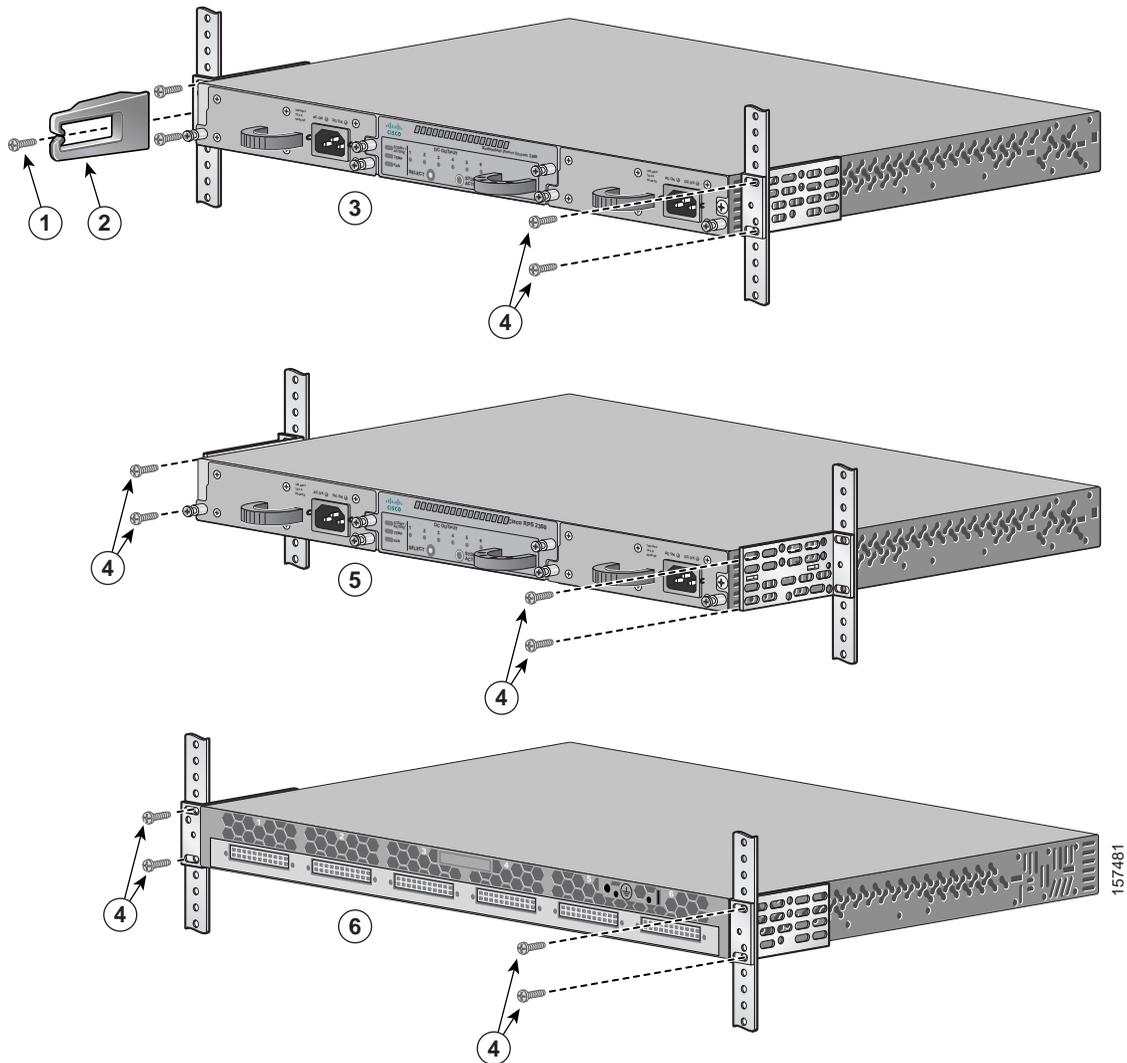
ラックへの RPS 2300 の設置

RPS 2300 にブラケットを取り付けたら、付属の 4 本の No.12 小ネジを使用してブラケットをラックにしっかりと取り付けます (図 2-3)。ブラックの小ネジを使用して、左右いずれかのブラケットにケーブルガイドを取り付けます。



(注) RPS 2300 をスイッチ スタック付きのラックに設置する場合は、RPS 2300 をラックの一番下に設置します。必要な場合は、ケーブル配線用のスペースを確保するため、RPS 2300 とその上の最初のスイッチとの間に 1 RU の間隔を空けます。

図 2-3 ラックへの RPS 2300 の設置



157481

1	小ネジ、ブラック	4	No.12 小ネジ
2	ケーブルガイド	5	ミッドマウントの位置
3	フロントマウントの位置	6	リアマウントの位置

卓上または棚への設置

RPS 2300 を卓上または棚に設置する場合は、マウントキットの中からゴム製の脚が付いた粘着ストリップを取り出します。シャーシ底面のくぼみにゴム製の脚を 4 つ取り付けます。

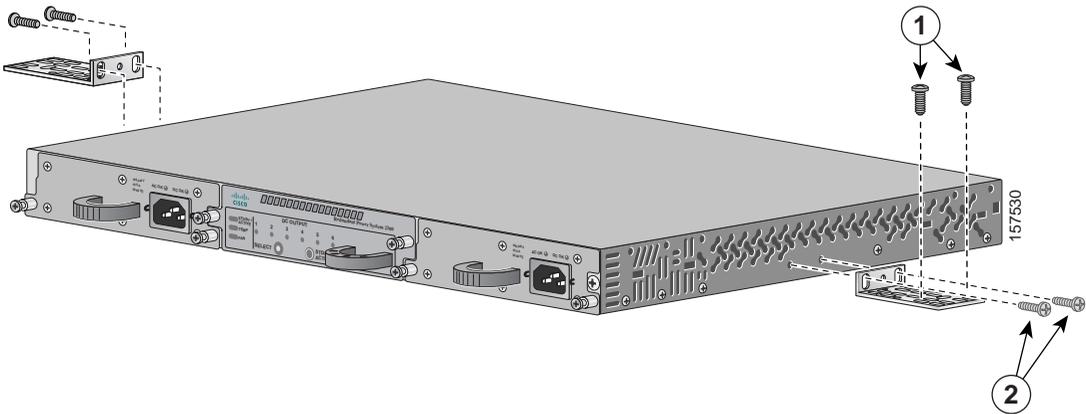
スイッチの側面パネルから 2 本のトラスヘッドネジを取り外し、それらのネジを使用してブラケットを RPS 2300 に取り付けます (図 2-4)。適切な金具を使用して、ブラケットを卓上または棚に固定します。



注意

19 インチ ブラケットを使用して RPS 2300 を壁面に取り付けないでください。このブラケットは壁面への取り付けには適していません。

図 2-4 卓上または棚への RPS 2300 の設置



1 ユーザ側で用意したネジ

2 プラス トラスヘッドネジ

RPS 2300 の接続

ここでは、RPS 2300 を電源および外部装置に接続する方法について説明します。具体的な内容は次のとおりです。

- 「ケーブル配線オプション」(P.2-16)

- 「電源に関する考慮事項」(P.2-16)
- 「ケーブルの接続」(P.2-17)

ケーブル配線オプション

RPS 2300 へのスイッチの接続に使用するケーブル配線オプションは、スイッチによって異なります。RPS 2300 は次のコネクタ ケーブルを使用します。

- Catalyst 3750-E および 3560-E スイッチ用の RPS ケーブル (CAB-RPS-2300-E=) : 両端に 22 ピン コネクタが付いています。
- RPS ケーブル (CAB-RPS-2300=) : 一方の端に 22 ピン コネクタ、もう一方の端に 14 ピン コネクタが付いています。このケーブルは、サポートされているその他すべてのシスコ デバイスを RPS 2300 に接続する場合に使用します。

RPS 2300 がサポートしているすべての製品を含むリストについては、Cisco.com から入手できる『Cisco Redundant Power System 2300 Compatibility Matrix』を参照してください。



注意

必ず承認されたケーブル (CAB-RPS-2300-E= または CAB-RPS-2300=) を使用し、シスコの機器にのみ接続してください。承認されていないシスコ製ケーブルまたは機器に接続すると、機器が損傷するおそれがあります。

RPS ケーブルの詳細については、付録 B 「コネクタおよびケーブルの仕様」を参照してください。

電源に関する考慮事項

RPS 2300 に接続されたスイッチは、RPS 電源から内部電源に切り替わったときに再起動する場合があります。データ損失を防ぐため、まずスイッチ トラフィックを代替スイッチに迂回させることを推奨します。これは Catalyst 3750-E スイッチまたは Catalyst 3560-E スイッチには該当しません。

ケーブルの接続

ここでは、ケーブルおよび電源モジュールを RPS 2300 に接続する方法について説明します。

(任意) RPS には、RPS 2300 のアース接続に使用するシングルアースラグが付属しています。アースネジを使用してこのシングルアースラグとワイヤアセンブリを RPS 2300 背面パネルに取り付けます。アースラグネジを 60 lbf-in (960 ozf-in) のトルクで締めます。



(注) Network Equipment Building Systems (NEBS) に準拠したアース接続が必要な場合は、10-AWG (6 mm²) の銅線を使用します。



(注) 別の装置を RPS 2300 に接続する場合は、接続する RPS ポートをスタンバイモードにします。そうすると、RPS 2300 によってバックアップされている装置が電力を失いません。

ケーブルを接続するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** 電源コードを電源モジュールに接続し (図 2-7)、電源コードのもう一方の端を AC 電源に接続します。
- ステップ 2** RPS ケーブルの一方の端を RPS の DC 出力コネクタに接続します (図 2-6)。
- ステップ 3** RPS ケーブルのもう一方の端をスイッチの RPS レセプタクルに接続します。
- ステップ 4** RPS 2300 がサポートする各スイッチに対して **ステップ 1** ~ **ステップ 3** を繰り返します。
- ステップ 5** ラチェット式トルクドライバを使用して、各ネジを 5 lbf-in (80 ozf-in) のトルクで締めます。
適切に動作するように、コネクタを奥まで差し込み、ネジをしっかりと締めてください。
- ステップ 6** (任意) RPS の Standby/Active ボタンを押して、RPS 2300 をアクティブモードにします。

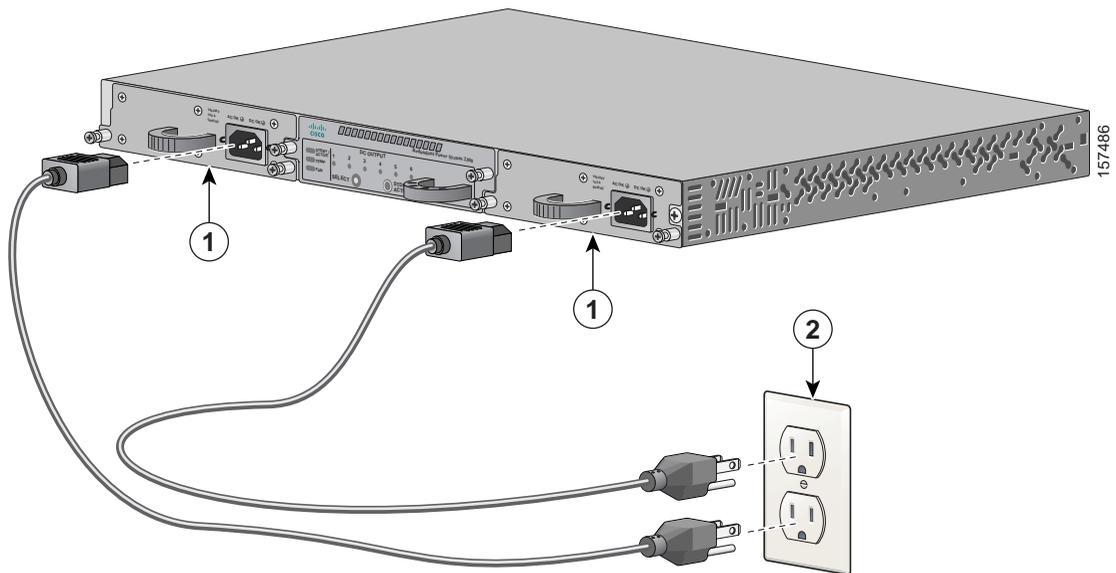
RPS 2300 の接続

ステップ 7 RPS の LED と各接続装置に対応する DC 出力 LED がグリーンになります。グリーンにならない場合は、[第 4 章「トラブルシューティング」](#)を参照してください。



(注) RPS 2300 の電源を切るには、RPS 2300 から AC 入力電力を切断し、接続されているすべての DC ポート コネクタ ケーブルを外します。

図 2-5 RPS 2300 への電源モジュールの接続



1 電源モジュール

2 AC 電源

図 2-6 RPS 2300 へのケーブルの接続

